

座長コラム「長岡の風」

第18回 2025年5月

万博に行ってきた

長岡経済・産業連携会議 座長：高野裕

4月13日

大阪・関西万博の初日に行ってきた。

仲間に万博に行ってきたと話すと、「万博のチケットは売れていないんですってね」などと、ネガティブな返事が返ってくる。そして「万博は大きな赤字になって、パビリオンもまだできていないんですってね」などと追い打ちをかけてくる。こんな話を聞くと、万博会場はガラガラで人もいなく建物もまばらで、あちこち工事中のクレーンしか目に入らないようなイメージがわいてくる。ところが、「百聞は一見にしかず」全く逆だ。あふれんばかりの人が集まっており、工事中の建物など目立つような状況にはない。

モッタイナイ

それよりも、この万博会場は世界最先端の情報が、今地球上で一番集まっている場所。世界最先端の現物を目で見、手で触ることさえできる唯一の場所。こんなチャンスを逃すことはモッタイナイ。来年はもう日本では見られない。見ようと思ったら海外に出かけてゆかねばならない。いまならパスポートなしで日帰りも可能な場所にある。こんな目の前にあるチャンスを逃すなんて、モッタイナイ。モッタイナイ。

ID登録

今回の万博は先進的なイベントとして、入場券を手に入れたらWebで登録することから始まる。ID登録が終わったらパビリオンの予約をする。ただし、この予約がなかなか取れない。結局私は予約なしで会場に向かった。会場への入場も入場時間を予約することが必要だ。この予約システムのおかげで入場者数のコントロールができています。私は初日の朝一番、9時入場を予約した。

おばさん情報

当日は、ホテルの朝食を早々に切り上げて会場に向かった。地下鉄を使って会場に向かう。会場駅に近づいてくると、あの青地に赤い顔がついたようなマークがあちこちに目立つ。会場駅につくと、乗客は足早に出口に向かう。報道関係者のカメラが一斉にこちらに向かってシャッターを切っている。外に出ると雨、開場まで1時間ほどあるが入場ゲート前には長蛇の列ができています。上空にはヘリコプターが10機ほど時計回りに旋回している。隣のおばさんが話しかけてく

る。どこのパビリオンが注目されているのかなど、なんとなくおぼろげな情報が少し入ってきた。なんでも、ゲートに入って10分すれば当日予約ができるという。しかし、事前の予行演習のときには、当日予約にアクセスできるようになるまで1時間かかったという。

紙のQRコード

ようやく開場、ゲートが開いたようだ。入場は登録されたQRコードをスマホの画面に表示してゲートのセンサーにかざすという。しかし、スマホを立ち上げて、登録画面を表示していてもゲートに近づく前に、画面が消えてしまい、再度Webページにアクセスしてパスワードを入力したり、何だかんだと操作しなければならない。雨が降っている中、雨傘を片手に持ってスマホを操作することが実に煩わしい。前方の様子を見ていると、ようやく自分の順番がやってきたときには、すでに画面のQRコードは消えており、慌ててセンサーの前で再度立ち上げている人が大勢いた。私はこんなこともあるのかと、プリントアウトしたQRコードをポケットに用意していた。結局スマホではなく、紙のQRコードをセンサーにかざしてすんなりと入場した。

当日予約

入場ゲートを通過して、さあどこに行こうかと言う前にトイレを探した。雨の中を1時間も待っていたことで、トイレに行きたくなっていた。ゲートの脇にその場所があった。まずはトイレだ。さて、トイレから出てきてさっそくトライしたことはスマホを出して当日の予約だ。すると、なんとすんなりと当日予約のページに入れた。ただちに、どこのパビリオンを予約しようかと思いながら、これはとにかく早く予約したほうがよいと考え、まずは日本館と入れてみる。すると、なんと11時半の予約が取れた。これはありがたい。つづけて次の予約をしようと操作したが、次の予約は先の予約が終わってからでないと対応しないという。そうか、ということでスマホを閉じて会場内に向かった。

TVインタビュー

まずは正面に例のイメージキャラクターのモニュメントが目に入ってきた。大勢の人がこの前で写真を撮っている。さらに、その先には大きなリングの木造建築物が目に入ってくる。小雨になってはいたが、あのリングの下にいけば雨に当たらずに済むだろうと向かった。リングの下に入ると、新しいヒノキの香りがした。背の高いガード下のような場所だ。リングの下を通り抜けてパビリオンが目に入ってきた。正面にはアメリカ館とフランス館がある。どちらも人がすでに並んでいる。まずは一番近いアメリカ館の行列に並んだ。テレビカメラがこちらに向かって、インタビュアーがマイクを私に向けて言う。「なぜアメリカ館を選んだのですか。55年前の月の石と比較するためですか」などと誘導的な質問をする。私は「一番手前にあったから来た」などと、ありのままに答える。ま、このようなコメントはカットされるだろう。

ハンバーガー

アメリカ館の出口近辺に簡単なレストランがある。たぶん、他のレストランなどはお昼近くになると混んでしまうだろうと思い、さっさと何か食べてしまおうと入ってみた。そこはハンバーガー中心の簡単なものだ。ハンバーガー１個にコーヒー１杯を注文して３千円を出し、おつりをもろう。ようやく出てきたハンバーガーを食べる。これが実に美味い。街中で食べるハンバーガーなどとは比較にならない美味さだ。

一周２キロ

予約した日本館の時間まで会場内を少し歩いてみた。どこかのパビリオンに入れないだろうかと思いながらフラフラと散策した。いろいろな民族衣装を着けた人が、それぞれのパビリオン近くですれ違う。見ているだけで楽しくなってくる。開場の全体像を把握するために、リングの上に向かってみた。このリングは一周２キロメートルだという。さすが一周してくるほどの時間と気力は無く、予約の日本館へと向かった。

フードコート

日本館を無事懸隔した後、次の予約を入れようとスマホの画面をいじってみたが、当日予約はすでにどこも一杯で取れない。雨脚も少しずつ強くなってきた。どこかで休みたいのだが、リングの下のはしには皆さん座り込んでおり、私が座る場所など見当たらない。どこか建物に入るにも雨の中の行列に並ばなければ入れない。フードコートのような場所は人手あふれており、ようやく中に入ってみてもゾロゾロと歩くだけで座る場所は見当たらない。実は、フードコートの中央部にはイス席がいっぱいあるのだが、そこはすべて予約席ということで入ることはできない。フリーの場所は当然いっぱい空いていない。外は雨で寒いから、皆さん建物の入り口近くにたむろするばかりだ。

最高の場所

私はあることに気がついた。このリングの周りを電気バス「e Mover」が巡回している。この電気バスは１回４００円だが、１日券千円を購入すれば何回でも乗れる。この１日券を購入して電気バスに乗る。これは随時乗車できるからほぼ席に座ることができる。そして、車内は温かい。座っているとウトウトしてしまう。実はここが一番休める場所だと気づいた。雨にも当たらず、確実に座れて、一眠りもできる最高の場所だ。

一番長い行列

私は夜のイベントまで見て帰るつもりだったが、３時頃になったら雨脚も強くなって、足元も雨で濡れ、体も冷えてきたので、もう帰ろうと出口に向かった。ところが、出口に長蛇の列ができていた。とにかく列に並ばなければ外に出られないようなので、仕方なくまた雨の中で並んで待つ。どうしてこんなに列ができていくかわからず、ただただ雨の中で並んでいた。こんなときに、きちんとした情報が伝わってくれば納得するのだが、そこにいた警察官も、ただ並んでくださいというだけで、なぜ列ができていくのか説明もない。結局、この列は会場出口からすぐ目の

前の地下鉄改札口までつながっており、地下鉄が入場制限をしているために会場出口まで列ができていたのだった。万博会場で一番長い行列は、この出口だった。

再度訪問したい

私は、今回は雨でちょっと大変だったが、ぜひ再度この万博期間中に訪問したいと思っている。皆さんも、ぜひチャンスがあったら、いま世界でここしかない万博会場に行かれてみてはいかがだろうか。世界中からわざわざ日本にやってくる万博会場へ、半年しかやっていない万博会場へ行かれてみてはいかがだろうか。